

水稲育苗箱専用殺虫殺菌剤

農林水産省登録
第22010号

自然に学び自然を守る



〈写真はイメージです〉

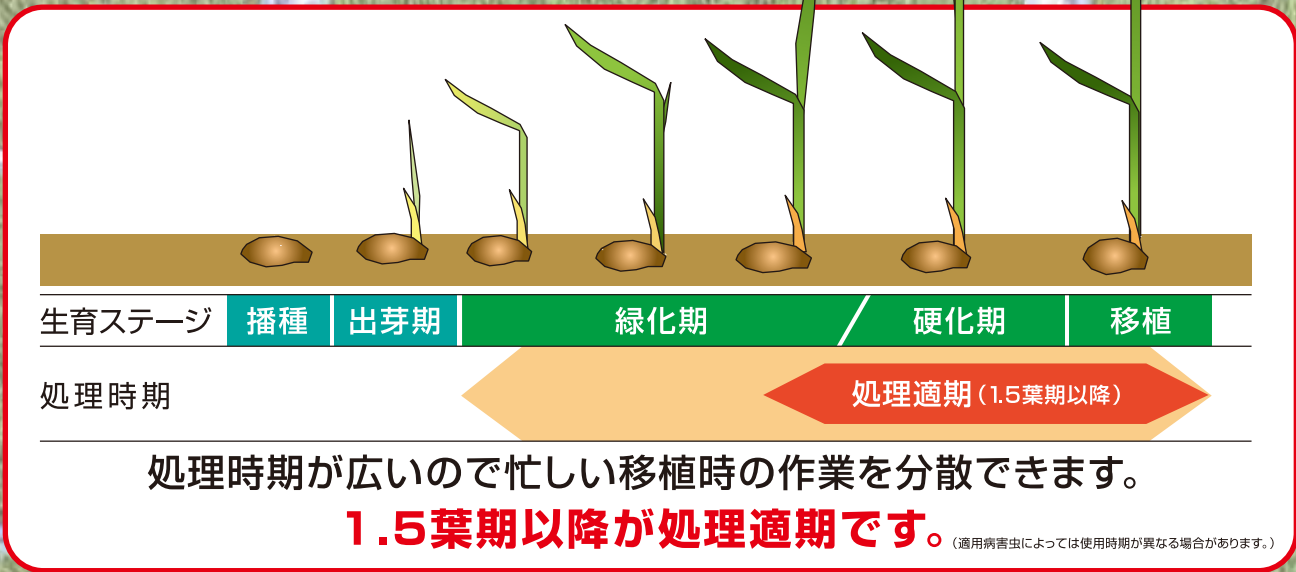
アイゲット® プリンス® リンバー® L粒剤



箱
から
箱

1袋に1粒 播種から移植

「さーっ」と簡単



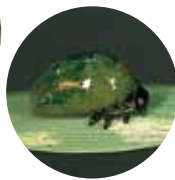
いもち病・細菌病に負けない稲になる 紋枯病・主要害虫も同時に防除



葉いもち



白葉枯病



イネドロオイムシ



イネミスゾウムシ



コブノメイガ



ウンカ類



もみ枯細菌病



紋枯病

水稻育苗箱専用 殺虫殺菌剤

バイゲット プリンス リンバー L粒剤



有効成分：チアジニル 6.0%
フィプロニル 1.0%
フラメトピル 4.0%

毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）

病害防御機能増強とは？

バイゲットの有効成分チアジニルは、いもち病菌に対して直接抗菌力はありません。本剤を吸収した稲は、抵抗力が増加し、侵入したいもち病菌を細胞内に封じ込め、菌糸の進展を阻止します。これにより、いもち病菌の病斑の形成、蔓延を防ぎます。

バイゲット

- 稲をいもち病にかかりにくくする作用性（病害防御機能の増強）を有します。
- 葉いもち防除効果が高く、効果持続性にも優れます。
- 本田で発生するもみ枯細菌病や白葉枯病等も同時防除できます。

特長

プリンス

- 独自の作用機作をもつ殺虫剤で低薬量で高い殺虫効果を示します。
- 長期にわたり高い防除効果を示すので、省力的かつ経済的です。

リンバー

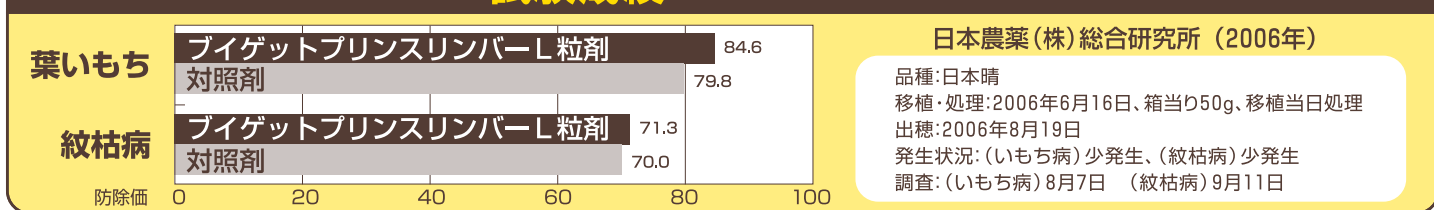
- 紋枯病菌に強力な抗菌活性を示します。稲体への吸収移行に優れ、高い効果が長期にわたり持続します。

〈2012年9月現在の登録内容〉

適用病害虫および使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フィプロニルを含む農薬の総使用回数	チアジニルを含む農薬の総使用回数	フラメトピルを含む農薬の総使用回数
稲（箱育苗）	いもち病 紋枯病 ウンカ類 ニカメイチュウ イネミズゾウムシ イネドロオイムシ コブノメイガ イネツトムシ 白葉枯病	育苗箱 (30×60×3cm、) 使用土壌約50g 1箱当り50g	緑化期～ 移植当日	1回	本剤の所定量を育苗箱中の苗の上から均一に散布する。	1回	3回以内 (移植時までの 処理は1回以内、 本田での散布は 2回以内)	2回以内 (育苗箱散布は 1回以内)
	もみ枯細菌病		移植3日前～ 移植当日					
	内類褐変病		移植当日					

試験成績（いもち病／紋枯病）



正しく安全にお使いいただくために

- ① 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機で移植してください。
- ② イネ葉が濡れている場合には、散布前に葉に付いている露を払い落としてから薬剤を散布してください。
- ③ 軟弱徒長苗、むれ苗又は苗の生育が不良な場合には、薬害を生じる恐れがあるので注意してください。
- ④ 本田の整地が不均整な場合は、薬害を生じる恐れがあるので、代かきは丁寧に、移植後に田面が露出しないように注意してください。
- ⑤ きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱から

- こぼれ落ちないように散布してください。
- ⑥ フィプロニルによる中毒に対しては、動物実験でフェノバルビタール製剤の投与が有効であると報告されています。
- ⑦ 眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- ⑧ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- ⑨ 水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意してください。

● 使用前にはラベルをよく読んでください。 ● ラベルの記載以外には使用しないでください。 ● 本剤は小児の手の届くところには置かないでください。 ● 使用後の空容器等は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

取扱



JAグループ
農協 | 全農 | 経済連

全農は登録商標第4702318号

販売

自然に学び 自然を守る

クミアイ化学工業株式会社

本社：東京都台東区池之端1-4-26 〒110-8782 TEL03-3822-5036
ホームページ <http://www.kumiai-chem.co.jp>